[年間連載テーマ]自律と協働のまちづくりを目指す

7月号のテーマ

役場の仕事を町民みんなで担う

紅白が同点で
優勝旗を共有した今年の運動会。
互いの健闘を讃え
感動を分かちあえる喜びは、格別だよね。
こんな風に、地域に必要な仕事も
みんなで分かちあえたら、
きっと毎日がもっと生き生きと楽しくなるね。

■ 情報共有を深める[プラン策定の現場から②／町長の行政報告／まちづくり交付金事業の現状②]
■ 町民の広場[私たちの創作と表現②／きもべつの文芸／健康通信／桂院長のちょっと耳寄りな話④]
■ まちの話題[写真で振り返る5・6月の出来事]
■ お知らせ[町、道、国などからのお知らせ／ほっとインフォメーション]
■ すくすく1歳です／まちのカレンダー／戸籍の窓口 など

広報きもべつ

2009年 7月

Public Relations of Kimobetsu

No.701

役場の仕事を町民みんなで担う
アウトソーシングについて考える

6月号の特集では、まちの財政を振り返り、自律のまちづくりにむけた新たな方策について考えました。そのなかで、行政から住民へのアウトソーシングや行政と住民の協働をこれまで以上に推進することによって、多様な自治の担い手が登場してまちづくりの活動が活性化し、行財政改革をさらに進めることができるのではないか、という考えが浮かび上がってきました。7月号においては、アウトソーシングの現状や課題、今後の可能性などについて考えます。

Ⅰ アウトソーシングって、どんなこと？

課題解決のノウハウがどこにあるか

私たちの町では、「アウトソーシング」という言葉を耳にする機会が比較的多いようです。どんな意味なのでしょうか？

単なる業務の請負（「業務委託」）ではなく、高度な専門的ノウハウを包括的に活用することを「アウトソーシング」と称することが多いようです。しかし、様々な課題を解決するため、その能力を持っている地域の企業や団体などに解決を託すということはごく自然な発想なので、「アウトソーシング」の範囲をもっと柔軟に受け止めようという考え方（※１）もあります。つまり、自分たち以外（アウト）の誰かが有するノウハウを活用する（ソーシング）、という発想です（※２）。

【※２】アウトソーシングの種類

アウトソーシングの種類
- 業務委託＝行政の業務を部分的に委託
- 包括的委託＝行政の業務をまとめて委託
- 法人化＝形式的に別組織にする
- 指定管理者制度＝行政の業務を民間が運営
- 民営化＝行政組織からまるごと切り離して民間に

所有は行政／民有
行政が決定／民間が決定

アウトソーシングの狙いと効果

アウトソーシングによって、役場だけでなく住民自身も公的サービスを提供することになりますが、この場合、住民同士であれば、利用者のニーズをより的確に把握できます。また、住民の中には役場担当者以上に専門的な知識や経験を身につけている方もおられるので、さらに質の高い公的サービスを提供できる可能性もあります。

アウトソーシング導入の狙いについて、役場総務課の内村俊二課長は次のように話します。

「アウトソーシングは役場の人件費の削減を目的にしたもの、という理解が一部にあるようです。でも、そうではありません。役場だけが住民に公的サービスを提供する〝公助〟は、職員が減少している中で限界が生じています。また、地方分権が推進されていますので、住民自身が自分の力で自らの課題を解決する〝自助〟、あるいは地域や住民グループによって支えあう〝共助〟といった住民自治が求められているのです。アウトソーシングや協働はそのような住民自治の一つ、と捕らえて推進しています。業務のあり方を住民や民間の視点から見直し、柔軟で迅速な対応が可能になったこと、コスト意識をもった業務のあり方についてなど、成果も見えつつあると思います。」

では、アウトソーシングの現場はどのような実態となっているのでしょうか。

【※１】
今井照氏（福島大学）、島田達巳氏（摂南大学）など

Ⅱ アウトソーシングの現場から

主なアウトソーシングの事例

まちづくり講座

アウトソーシングにより、本町で民間が業務を行っている公的サービスの多くは、まとめて委託する「包括的委託」に分類される業務ですが、「指定管理者制度」に基づく業務もあります。（※３）

【※３】本町における主なアウトソーシングの例（本文に紹介の分のみ掲載）

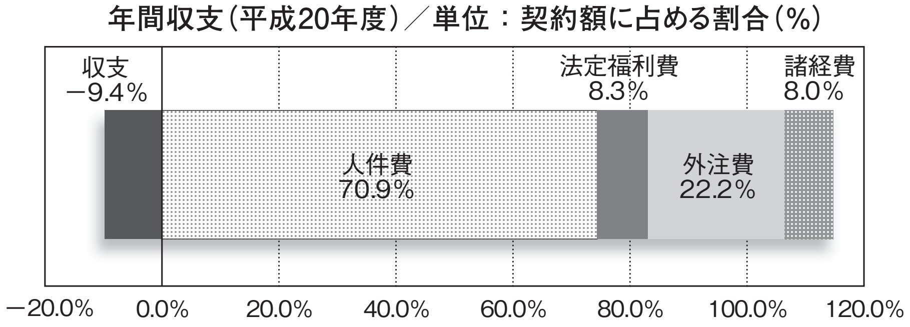
本町の主なアウトソーシング		
デイサービス	社会福祉協議会	包括的委託
中山峠観光案内	商工会	包括的委託
広報編集等	商工会	包括的委託
町民公園等の管理	後志総合管理有限会社	指定管理者制度

広報編集等のアウトソーシング

平成19年度から、それまで役場総務課が行なっていた『広報きもべつ』の企画・取材・編集・印刷・配付、町のホームページ更新、オフトークの放送、そして建設課所管の農村環境改善センター管理運営業務を、商工会にアウトソーシングしています。広報紙やホームページにおいては、民間のノウハウを活用して、住民の目線に立った記事を編集しているほか、まちづくり講座や広報写真パネル展など、まちづくりに関わる住民活動の活性化に向けた自主事業（契約事項外）を実施しています。これらの業務は、「町民まちづくり編集工房」という事業体を組織して推進しています。

しかし、このようなアウトソーシングには、課題もあります。平成20年度決算の中で、町民まちづくり編集工房の業務に関わる運営状況は、グラフ（※４）に示すとおりです。年間収支がバランスを欠いている現状の解消に向けて、住民サービスの質を高める上で重要となる、職員の労働条件やスタッフ体制などをどのように改善するのかが、大きな課題となっています。

【※４】町民まちづくり編集工房の運営状況



■人件費＝役員報酬＋給与手当（全3.3名分
※H20年度はスタッフの１名が途中退職）
■法定福利費＝（3.3名分）
■外注費＝デザイン組版費＋印刷製本費＋ホームページプログラミング支援費
■諸経費＝PC等リース、通信費、交通費、雑費や消耗品費など
■収支＝契約額−支出（※赤字分は、他業務により補填）

中山峠観光案内業務のアウトソーシング

平成18年度から中山峠における観光案内業務等を受託している商工会に、業務の状況をお聞きしました。

「商工会が受託しているのは、中山峠に設置された「iセン

中山峠の観光案内業務

ター」と言われる観光情報案内業務と、峠のトイレ管理業務です。特にiセンターの運営をアウトソーシングして民間が経営しているのは珍しいのです。このような仕組みは、様々な経緯があってできたものですが、住民感覚に基づいた民間のノウハウを活用すると言う点で、重要な役割を果たしていると思います。

今後に向けて、課題もあります。業務の受託にあたり、新規雇用の場としての視点から3名の正職員を雇用しましたが、業務水準を維持しつつさらにその質を高めるためには、業務内容にふさわしいスタッフ体制と給与水準にすることが課題となります。しかし、現状の受託内容ではなかなか難しいのが実態ですね。」

指定管理者制度による町民公園などの管理運営

指定管理者制度により、平成18年度から町民公園などの管理運営を手がけている後志総合管理有限会社の村上正彦社長に、業務の状況をお聞きしました。

「指定管理者ですので、直売所レストランやパークゴルフ場など収益部門の営業努力と、公園の管理など非収益事業を適切に組み合わせる経営努力が求められるわけですが、収益の高止まりなどにより、経営状況は厳しいのが実態です。

近年、パークゴルフ場の利用者は周辺に新しくできたコースも体験して眼が肥えていますから、整備に対する要望が高まっています。そのような声に応えるため、周辺の施設と比べて掛けられるコストに圧倒的な差がある中で、ギリギリの経営努力に努めていることを、住民の方に理解して欲しいと思っています。幸い町の各種公園管理のため新型の芝刈機が入りましたので、利用者が満足できるようなコース作りに大いに活用しています。」

他に、加森観光株式会社が指定管理者となって、中山峠写真の森美術館等を運営しています。

町民公園パークゴルフ場の芝刈り作業

社会福祉協議会によるデイ・サービス事業

ふれあい福祉センターに事務所を置いて、デイサービス事業の委託を受けて業務を行っている社会福祉法人喜茂別町社会福祉協議会。事務局長の高田裕さんに、お話をお聞きしました。

「私は、一昨年前までは役場職員としてアウトソーシングを進める立場でした。いま逆の立場に居ると、いろいろな問題点が見えますね。そのひとつは、アウトソーシング本来の姿がややもすると誤解される恐れがあるということです。そうならないため、社協は民間組織としての自主性を高めなければならないと思います。」

デイサービスの様子

アウトソーシングを出す側と受ける側に身を置いた高田さんの言葉には、アウトソーシングの今後のあり方を考えるための問題提起を感じます。

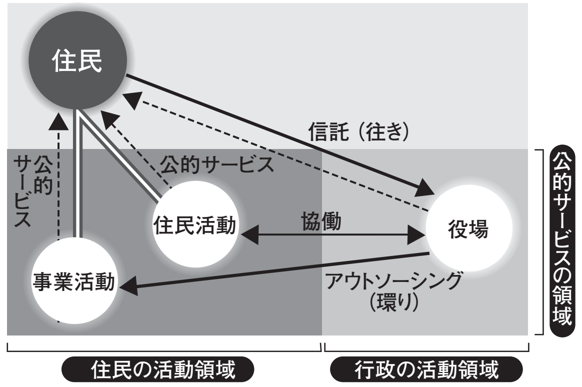
これらアウトソーシングの現場からの声を、どのように受け止めたらよいのでしょうか。

Ⅲ アウトソーシングの改革を展望する

〝そもそも〟について考えてみる

〝そもそも〟、ということから考えてみると、行政というのは住民が自分自身で問題解決できない場合の代行機関（「信託」と言います）の一つである、ということができます。憲法や地方自治法に示されています。この理念を出発点にすると、「行政というのは、住民が公的な仕事をアウトソーシング（信託）することによってできたもの」という認識に到達します。ですから、役場から住民や事業所へのアウトソーシングは、住民から役場への信託（アウトソーシング）を住民や事業所に戻す「循環」である（※5）ということになります。つまり、アウトソーシングというのは、行政の仕事を地域社会に戻して、公的サービスの担い手を住民の間で再編成することであり（※6）、「自律」に向けた新たな役割分担を生み出すということになります。

【※5】アウトソーシングの循環



多様な担い手相互の連携

アウトソーシングを発する町も受ける事業者も、公的サービスを提供する立場としては基本的に同じです。公的サービスを担う多様な主体が連携するためには、情報の共有と活動の分担、そして相互の理解が不可欠です。

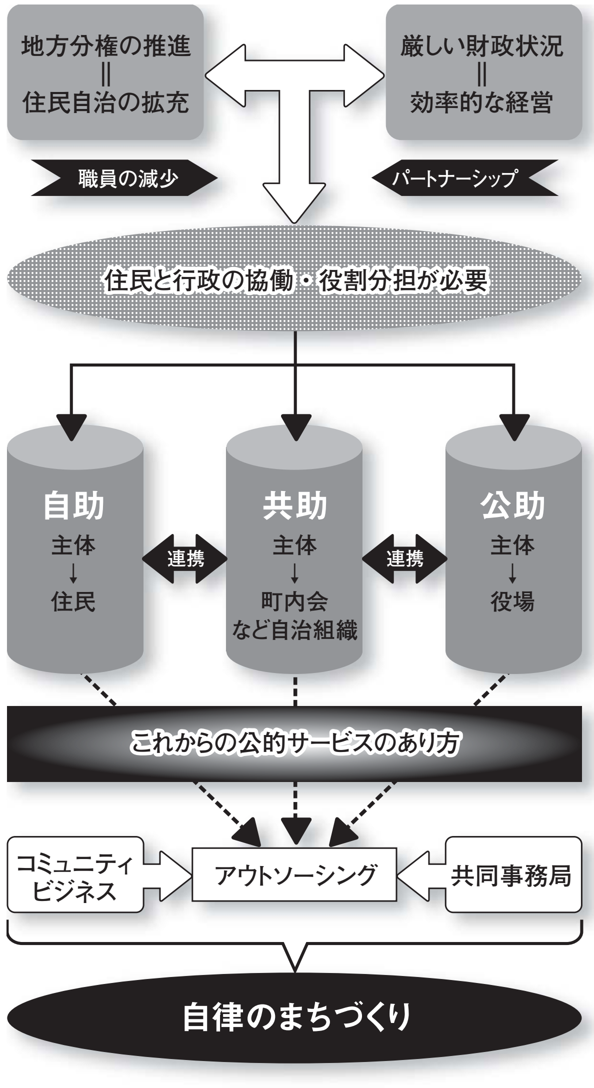
今後、アウトソーシングによる公的サービスの担い手を一層多様化する上で、アウトソーシングのあり方やその仕組みをどのように改革すべきか、まちづくり政策の観点からさらなる検討が不可欠です。アウトソーシングを受ける各事業体が単独で頑張るだけでなく、何らかの連携や組織化に向けて、公的サービスの多様な担い手の間で一層の改革を進める必要があります。（※7）

自律プランでは、公的サービスの担い手の多様化への対応や、アウトソーシングの持続性などの検討から、コミュニティビジネス（※8）への展開を視野に入れた議論が求められます。自律と協働のまちづくりを目指すうえで、これらの検討は避けて通ることのできない課題と言えそうです。

【※6】今井照著『自治体のアウトソーシング』

【※8】コミュニティビジネスとは、地域で困っている課題を解決するため、住民自身が協力し合いながら持続できるビジネスとして展開する活動を指します。

【※7】アウトソーシング改革のイメージ



プラン策定の現場から　その2

第1回「きもべつ自律プラン作成委員会」が開催

自律プラン委員会（山崎教授の講演）

自律プラン作成委員会がスタート

6月3日（水）、「きもべつ自律プラン」の第1回作成委員会が、役場2階大会議室で開催されました。

選任委員7人、有識者3人、公募委員3人の計13人に対して菅原章嗣町長から委嘱状が交付された後、事務局から、今後の進め方、自律プラン作成の基本的な考え方、主な論点、作成要領、スケジュールなどが説明されました。委員長には菊地利憲さん、副委員長には高田裕さんが選任されました。

その後、北海道大学公共政策大学院の山崎幹根教授による講演「これからの自治のあり方について」が行われ、委員から活発な質問や意見が出されました。

特に、委員会の進め方に関する意見が多く、財政の裏づけを含めた議論をするには期間が短い、あるいは、事務事業の個別の検討よりもまちづくりのビジョンが先ではないか、などの指摘がなされました。委員会の進め方や期間については、町長や事務局から、委員会で議論しやすいように再整理する一方で、すぐできる改善案については翌年度から予算化したい、との意向も示されました。

自律プランの基本的な考え方

①基本方針

これまで町が進めてきた総合計画や合併協議の議論を踏まえて、基本理念、町の将来像などを委員の協議により決定します。

②検討する事業

合併協費における事務事業現況調書等の中から生活に密着した事業を中心に、協働の課題、連携の課題などについて検討を進めます。

③プランの期間

自律プランは、第4次総合計画の終期に合わせ、平成21年度から平成23年度とします。

④プランの位置づけ

自律プランは、次期総合計画（形成24年度から平成34年度）の基本方針に相当部分を反映します。

⑤住民参加の方法

素案段階から住民説明会やパブリックコメントなどを実施し、住民参加が図られるよう努めます。

また、北海道大学公共政策大学院との連携により、一般町民も参加できる「まちづくり講演会」やフィールドワーク等を開催します。

自律プランの論点

検討の論点として、次の事柄が想定されます。

①喜茂別町の将来像について
②これまでの健全化計画の評価
③地域連携を進めるための手法
④町民と行政との協働の進め方
⑤財政健全化への方策
⑥自律プランを推進する方策

自律プランの策定スケジュール

作成委員会と二つの部会を毎月開催し、先進事例の調査なども行い、9月末には素案を議会に提示、10月住民説明会、11月パブリックコメント、そして12月から始まる予算編成に間に合わせたい、というスケジュール案が事務局より提案されました。委員から、会議の進め方をさらに工夫してもう少し時間を掛けるべきだ、との意見もだされたことから、再検討することになりました。

自律プラン作成委員会委員の方々［順不同：敬称略］

【アドバイザー】
山崎幹根（北海道大学公共政策大学院）

【オブザーバー】
村井篤司（北海道後志支庁）

【選任委員】
◎菊地利憲（喜茂別商工会）
小出邦彦（JAようてい喜茂別支所）
○高田裕（喜茂別町社会福祉協議会）
三野優（喜茂別町自治連絡協議会）
荻野栄子（喜茂別町女性団体連絡協議会）
山岸康仁（きもべつ青年交流セミナー）
松田伸二（喜茂別町PTA連合会）

【有識者】
谷口隆朗（加森観光株式会社）
水野浩志（北海信用金庫喜茂別支店）
佐々木秀徳（愛和の里きもべつ）

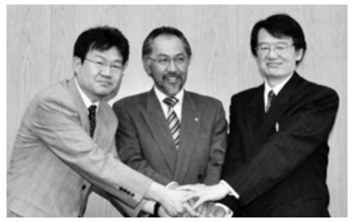
【公募委員】
堀浩和
千葉真一郎
村上誠

※公募委員はあと2名まで参加が可能
※◎印＝委員長　○印＝副委員長

北海道大学公共政策大学院と本町が連携協定を締結

第1回自律プラン策定委員会の開催に先立って、同日北海道大学ファカルティハウス「エンレイソウ」第一会議室で、北海道大学公共政策大学院と本町が連携協定を締結しました。調印式には、北海道大学公共大学院院長の中村研一教授と同公共政策学連携研究部の山崎幹根教授、そして菅原章嗣町長が臨み、新聞社やテレビ局の取材に対して連携協定の趣旨を説明した後、協定書にサインをしました。

連携・協定の内容は、①喜茂別町の「自律プラン」策定への協力、②地域の持続的発展、地域資源の活用に関する支援、③喜茂別町と札幌市南区との広域連携のサポート、④北海道公共政策大学院の教員や学生らによるフィールドワークを通じた研究、などとなっています。3年間の有効期限内に、さまざまな事業を予定しています。


連携協定
（左：山崎幹根教授　右：中村研一教授）

■喜茂別町のホームページにも、掲載しました。
http://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp/info/post_285.html

行政報告

5/27

第5回臨時議会

菅原章嗣町長から、1件の行政報告がされました。

1 新型インフルエンザの対策について

ヒトからヒトに感染する新型インフルエンザの世界的大流行が懸念されているなか、国は、二つの対策に偏重しない行動計画の見直しを行っています。また、道では、従来の「北海道新型インフルエンザ対策行動計画」を5月に改訂し、北海道新型インフルエンザ対策本部、発熱相談センター、発熱外来を設置し、新型インフルエンザ対策の取組みを強化しています。

今回の新型インフルエンザは致死率の高いウィルスではありませんでしたが、ヒトへの感染により変異することもあり得る中で、第二波として再度流行する事態も予想されています。

町では、町民に混乱を与えない適切な対応を行うために、「喜茂別町新型インフルエンザ対策行動計画」と「業務継続計画」を策定し、国や道の対策に対応できる体制を整備しました。もしもの場合には、冷静な対応が第一と心得、各関係機関、本町組織の連携と協力のもと、対応していきます。

［連載・第2回］

まちづくり交付金事業の進捗レポート

■多目的町民センターを建設します

今年度、生活改善センター跡地に、「多目的町民センター」を建設することとなっています。この多目的町民センターは、保育所エリア、子育て支援エリア、多目的利用エリアの3つのエリアで構成されています。

●保育所エリア：保育室（4）、遊戯室、ホール、保育士ステーション、医務室
●子育て支援エリア：子育て支援センター
●多目的利用エリア：会議室（3）

■多目的町民センター建設の目的

保育所・子育て支援機能を併せ持った「子育て支援センター」を整備することにより、少子化対策や子育て世代が安心して就労できる環境づくりを推進できます。

また、町民の皆さまに多様な利用をしていただく多目的コミュニティセンターと複合した施設となっていますので、世代間交流等の場としても活用できます。

多目的町民センターの遊戯室（パース図）

■工期
6月下旬～1月末

私たちの創作と表現 第二回

喜茂別短歌会

俳句とともに「きもべつの文芸」を毎号彩る短歌の世界も、人々の心の豊かさを感じさせてくれます。

喜茂別短歌会の栄花豊さんのお許しを得て、5月25日の短歌会におじゃましました。毎月の開催ですが、今回は4人の方が出席されました。

選歌は、スズラン俳句会の選句とは少し異なる進め方です。会員の皆さんから数首ずつ寄せられた歌がランダムに列記された一覧をもとに、順番に一人3首ずつ詠み、その都度評価と校正を加えます。作者の心を深く推し想い、自分の心も其処に重ねながらも、その歌がより的確な表現になるよう、その場で手を入れるところまで踏み込みます。語順を変えたり、言葉を変えてみたり、削ってみたり、文字を変えたり、詠んだ人の心を大切にしながらも、率直な意見が飛び交います。詠んだ歌の情景から連想した自分の体験を話して歌への共感が深まったり、異なる校正案が出て議論になったりもします。三十一文字に凝縮された心の世界が、合評の過程で様々な体験と生活観に彩られ、それぞれの感性の違いが繋がることによって豊かな幅となり、歌の背景が無限に広がっていくような印象が生まれます。歌そのものは独りの創作表現であっても、選歌の過程で多くの人の心を様々な光景で満たす大きな世界に変わっていく様子が、とてもリアルに感じられました。

この日の合評の中で、「常世」という言葉で作者はどんな世界を表現しようとしているのか、様々な意見が交されました。辞書の意味を超えて表現しようとしている作者の心を詠むのが「選歌」なのかもしれない、と少しわかりかけてきたときに、次の取材のため途中で退座せざるを得なかったのが、とても残念でした。

喜茂別短歌会の歌会に、皆さんも一度参加してみませんか。自分も創ってみよう、そんな気持ちになるかもしれませんよ。

■連絡先…栄花豊
TEL 33-2713

喜茂別短歌会の例会の様子

きもべつの文芸

❖スズラン俳句会❖

新樹蔭語り部ひとり又ふたり　井上　久子
白木蓮敷きてかぐはし登山道　鈴木章実代
雨あがり新樹に真珠ちりばめて　小出　盛子
夕空に新樹の色のそよぎけり　水上　梅子
古里に在りて残れる百千鳥　丹保　希美
画布抜けし新樹の中の山の宿　吉見　啓一
早ばやと新樹の光り眼にやさし　佐藤　紅葉
蝦夷富士の白雪映る新樹かな　向　三郎
新樹光足の痛みも忘る畑　佐藤　翠虹
山背風農夫腕組み思案顔　三間　登志
雲一つある方がいい夏の空　福井　富子
山背風ダムの水面はビブラート　高谷羽瑠子
風のこゑ雀のこゑや新樹光　辻口秋草子

❖喜茂別短歌会❖

麦わらの帽子をたたく初夏時雨
　群れ来るブヨに顔も攻めらる　飯田　北州

安堵して古巣に卵産むならむ
　風雨の海を越へきし燕　佐藤百合子

新緑の樹々の萌え立つ蝦夷富士の
　裾野彩る初夏の夕暮れ　向　三郎

人知れず下積み草も小花咲く
　いのちの尊さ誰に継げなむ　半崎　浩石

桜桃の花今咲き初めて風夕暮れの
　庭にたたずみ古里しのぶ　反保　希美

ふれあいセンター 健康通信 vol.16

介護予防も血管から

きっかけに認知の症状が出るようになった など様々です。

介護保険のサービスを利用するようになるきっかけとしては、

❶病気が重くなり日常生活に支障をきたすことが多くなった
❷骨折などのけがをした
❸年齢を重ねるうちに身体や記憶の力が自然と落ちてきた
❹入院やストレスなどをきっかけに認知の症状が出るようになった

など様々です。

病気の中では、高血圧や糖尿病、高脂血症などのコントロールが悪く、血管を傷め脳梗塞や脳血管性認知症、慢性腎不全などになり、日常生活に介助が必要になっていくことが目立ちます。

これらの病気は長年の間に血管が傷んでくるので、適切な対応により、予防や進行を抑えることが可能です。

介護を受けるようになった方から、病気が重くなったきっかけを聞くと、人と比べると塩辛い味付けを好んでいた、過労やストレスが続いていた、年々体重が増えていた、薬は飲んでいたが検査の値はあまり気にしていなかったなど、後で振り返ると、思い当たることがあると言います。

高血圧は「サイレントキラー」（静かな殺し屋）という別名もあるくらいです。将来のためにも血管を大切に過ごしましょう。

（健康推進課／伊藤菜穂子）

厚生クリニック 桂院長の

ちょっと耳寄りな話 第4話

前回お約束したので、BMIについてお話しましょう。BMIって、なんか難しそうな印象があるかもしれませんが、体重計とさほど変わらない指標（ものさし）の一種なんです。身長と体重で計算してBMIの値を出します（※）が、身長は大人になったらほぼ一定ですから、結局体重の変化でBMIの値が変わることになります。体重計と違うのは、その人が太り気味かどうか、肥満の度合いがわかるモノサシになる、ということなんです。

とは言っても、BMIの値が肥満を示したからといって、必ずしもその人が高血圧や高血糖、高コレステロールであるとか、病気の兆候を示している、ということではないのです。そうではなくて、体重計やBMIの値が肥満傾向を示す、つまりどんどん太っていく、肥満の度合いを強める“変化”の状態にあるときは、血液検査をするまでもなく、高血圧や高血糖、高コレステロールなど、血液の状態が悪化している可能性が高いということなのです。特に、もともと高血圧や高血糖、高コレステロールの人が肥満傾向を強めているときは、要注意です。BMIの話は、次回もう少し続けましょうか。

※BMI値＝
体重[kg]÷（身長[m]×身長[m]）
BMI値は、22が標準と言われています。

健康づくり係よりお知らせ

健康づくり相談室

（健康相談と栄養ミニ講話）

医師には開きにくいことや、日々の生活、自分や家族の健康など、どんな相談にも応じます。また、栄養の話を聞くこともできます。開催時間内は自由に出入りしてかまいませんので、お気軽にご利用ください。

平成21年　7月15日（水）
10:00～ 双葉克雪センター
13:00～ 鈴川集落センター

平成21年　7月23日（木）
10:00～ 喜茂別厚生クリニック

保健師からのメッセージ

できることからはじめる健康づくり

ストレス発散で食べすぎると、体にストレスがたまりますよ！

菊田有美 保健師

おやつの時間はとても楽しみですが、過剰な糖分、脂肪分の摂取になるような食べ方（ドカ食いやダラダラ食い）は、「心」は満足しますが、「体」にとっては都合の悪い話。ほどほどに”が大切です。お菓子は買い置きせずに食べるときに買う、スナック菓子より果物に、コーヒーは微糖か無糖にと少し工夫してみてはいかがでしょう。

写真で振り返る 5・6月の出来事

5/23(土)入学記念桜の植樹

喜茂別小学校と鈴川小学校の1年生13名が、保護者と一緒に入学を記念して町民公園に桜の木を植えました。あいにくの小雨模様ですが、集まった1年生たちはお母さんやお父さんと一緒に、とてもうれしそうです。思い思いの場所を選び、配られた桜の苗を植えていきます。どの子も、一生懸命参加していました。最後はみんな揃って記念撮影。自分の植えた桜の木、早く花を咲かせるといいね。

5/21(木) 建設協会と役場の職員有志がゴミ拾い

喜茂別建設協会加盟各社の社員有志と役場職員有志が、今年はじめてジョイントして、春のクリーンアップ・ボランティア活動を行いました。

100名ほどの参加者は、町道留産線沿線の大町2丁目周辺、浄化センター周辺、留産つり橋周辺、国道276号合流付近の4箇所に別れ、道路脇や道路下の低地に散乱しているゴミを黙々と拾い続けておよそ1時間、道路沿線はすっかりきれいになりました。

5/22(金)子どもの火災予防啓発活動

子どもの火災予防啓発が行われ、たくさんの子どもたちと保護者、消防団員、婦人防火クラブのメンバーが参加しました。

この日は、子どもたちが緑町で火災予防啓発のパレードをする予定でしたが、悪天候のため、消防署喜茂別支署の消防車両などを見学することになりました。普段、なかなか間近で見られない消防車両に乗れるとあって、みんな興奮ぎみです。1番人気の消防車は座席に座るのに、順番まちの列もできていました。

5/24(日) 花の市

毎春恒例の花の市が、町民公園駐車場で開催されました。花の苗や野菜の苗など豊富な種類の苗が色とりどりの花を咲かせ、生産者ごとの区割りで来客に販売されます。バーク堆肥も人気の商品です。訪れた方々は笑顔で生産者の方々と話を交しながら、苗を購入していきます。この花の市は、喜茂別花き生産組合が主催し、花き生産者4者と堆肥生産利用組合などさまざまな出店が賑わいをもたらしています。

5/25(月) 春季消防演習

市街地の大火から61年目を迎えた今年も、喜茂別小学校のグラウンドで、喜茂別消防団による行進や観閲、ポンプ操法訓練などの演習が行われました。その後、会場を幸町の喜茂別川河川敷に移し、一斉放水の訓練です。それぞれの放水に鮮やかな虹のアーチが架かりました。終了後、役場前で分列行進が行われ、役場2階大会議室で開かれた閉会式で、鈴川地区の第3分団長菊地光雄さんの31年の長きにわたる活動に対して消防庁長官から永年勤続功労賞が伝達されました。

5/24(日) アスパラ杯パークゴルフ大会

町民公園パークゴルフ場で、第3回アスパラ杯パークゴルフ大会が開催されました。地元喜茂別や山麓周辺町村はもちろん、遠くは、白老、神恵内、赤井川、伊達、札幌などから、145人がエントリーしました。コースとなったパークゴルフ場には、今が見所といわんばかりの満開の桜の木が、大会を盛り上げます。町内のどこの桜も既に散っているので、この時期にしてはとても珍しい光景となりました。

5/29(金)喜中生が交通安全街頭啓発活動

喜茂別中学校の生徒が、国道230号沿いで交通安全啓発活動を繰り広げました。

今年ボランティアで参加した生徒は、全校で25名。今回、春のキャンペーンとしては初めて、後志建設工業(株)の方々も合流しました。警察官に誘導されて会場に入ってきた車の運転手の方々は、生徒たちからの無事故のメッセージとアスパラを受け取ると、明るい笑顔でお礼の言葉を返していました。

5/28(木) フレッシュ大学がお大師山の清掃活動

お大師山で、フレッシュ大学の方々による清掃活動が行われました。小路を覆う落ち葉を掃き清めるボランティア活動です。今年はフレッシュ大学や教育委員会職員の方々に加えて、池田正宏教育委員長や社会教育委員の方々も参加したことから、皆さんの表情も明るく活気付いています。

石仏巡りの小道は、きつい傾斜地が多く大変です。それでも、自分の祖先や親戚、知り合いなどが寄進した石仏を見つけては、記憶を辿る会話が交わされました。

5/30(土)アスパラ市

町民公園の駐車場で、「アスパラ市」が開催されました。NPO法人きもべつWAOが主催して行っている事業です。オープンを待ちかねた常連さんが、1キロ入りのホワイトアスパラやグリーンアスパラを何袋も買っていきます。

今回も、用意したアスパラの全てを売り切り、喜茂別のアスパラを強力にアピールすることができました。

6/1(月)高橋知事、きらめき工房を視察

高橋はるみ知事が、きらめき工房を訪れ、加工グループの皆さんと交流を深めました。今回の視察は、「まちかど対話」として知事が道内各地を訪問し、直接住民の皆さんと対話をし、地域の実情を把握する機会として実施されているものです。

この日、きらめき工房加工グループの表谷政枝さんが、知事にこれまでの活動の経緯などをご説明したのち、厨房で豆腐を作る過程をごらんいただきました。豆乳や豆腐の味噌汁も試食していただき、和やかな笑い声や会話が飛び交う暖かい雰囲気の視察となりました。

町からのお知らせ

新型インフルエンザについて

国内で、新型インフルエンザの発症例が増えており、札幌でも1名が確認されました。

感染の心配がある方は、医療機関に直接行くのではなく、まずは倶知安保健所の発熱センターに電話でのご相談をお願いします。

相談窓口の連絡先は23-1951。平日の午前8時45分から午後5時30分まで、ご相談内容によって、必要時に発熱外来の医療機関をご紹介します。

手洗い、うがいをしっかり行い、むやみに人ごみに出て行くことは避けましょう。咳が出る方はマスクをつけることが大切です。湿度をしっかり保ち、休息をとって体調を整えましょう。

心配なことがあり相談場所に迷いましたら、ふれあい福祉センター保健師にご相談ください。

※お問い合わせ先…健康推進課 31-2940

納税期限のお知らせ

・固定資産税（第2期）
・国民健康保険税（第2期）

■納期限：7月31日

●期限内に納めましょう

●納税には便利な口座振替がおすすめです。

※お問い合わせ先…税務課納税係 33-2211

排水設備工事責任技術者試験のお知らせ

喜茂別町では、排水設備指定工事店の資格要件に排水設備工事責任技術者制度を導入し、次のとおり全道統一試験を行います。

なお、既に登録している方は、受験する必要はありません。

■名称／第14回北海道排水設備工事責任技術者試験

（日本下水道協会北海道地方支部に委託して実施します。）

■日時／平成21年11月5日（木）13時30分から

■場所／札幌市、小樽市、岩見沢市、釧路市、帯広市、北見市、苫小牧市、室蘭市、函館市、旭川市

■試験講習／平成21年10月に右記の市で開催します。

■手数料／受験料：4000円 受講料（テキスト代込）3000円

■受付期間

●平成21年9月1日(火)～10日(木) ただし土・日曜日は除く

●午前9時～正午、午後1時～午後3時30分

※お問い合わせ先・建設課上下水道係 33-2211（内線91）

生涯学習支援ボランティアバンクに登録して、活動に参加しませんか

今年から新たに、「生涯学習支援ボランティアバンク」を設置することとなりましたので、町民の皆さんの登録と参加をお願いします。

この「生涯学習支援ボランティアバンク」というのは、喜茂別町の生涯学習を推進するため、各分野において特技のある人、または一緒に活動、協力できる人を「生涯学習支援ボランティア」として登録し、生涯学習に関するボランティア指導・支援を必要とする地域や学校、各種団体、サークル等の要請に応じて支援・協力することを通じ、多様な学習機会を提供して、生涯学習活動の充実を図ることを目的としています。

■ボランティアバンクの設置者

ボランティアバンクを設置するのは喜茂別町教育委員会とします。

■ボランティアバンク登録対象者

①生涯学習に理解と熱意があり、生涯学習活動を支援・協力できる個人または団体

②町内に在住又は在勤している個人もしくは町内に事務局を有する団体

③原則として無償で活動する個人または団体

④政治・宗教・営利活動を目的としない個人または団体

■支援・協力の対象

・高齢者対象・成人対象・青少年対象・中学生対象・小学生対象等

■支援・協力の領域

●生涯学習活動への支援・協力

・講義や講演・実技や実演・実技や実演の補助・実技や技術の指導・実技や技術の指導補助・事業の企画・事業の運営や協力

●学校への支援・協力

・授業等への支援（教員の助手及び補助）・部活動への支援（指導者の助手及び補助）・環境整備・子どもの安全確保・学校行事への支援

■ボランティアバンクの登録分類

1 美術（書道、写真、絵画、彫刻、等）
2 芸能（日本舞踊、ダンス、詩吟等）
3 文芸（短歌、俳句、川柳、朗読等）
4 音楽（合唱、各種楽器等）
5 技芸（茶道、華道、園芸、囲碁等）、
6 工芸（陶芸、木彫、押花、絵手紙等）
7 歴史・文化（郷土史、折り紙等）
8 自然（野鳥、昆虫、植物、天体等）
9 情報通信・科学（パソコン等）
10 教育（講演、体験学習等）
11 生活（語学、手話、料理、裁縫等）
12 スポーツ（スキー、水泳、卓球等）
13 武道（剣道、柔道、空手、弓道等）
14 野外活動（トレッキング、登山等）
15 その他

※お申込み・お問い合わせ先：教育委員会 33-2203

喜茂別高校から、閉校記念にともなう展示品協力のお願い

今年度末（平成22年3月）の閉校を記念して、喜茂別高等学校では「閉校記念式典展示室」を設置することにしました。

そこで、多くの卒業生や関係者の方々にも展示品のご協力をお願いすることにしました。ご協力いただきたい展示品は次のとおりですが、閉校後も何らかの形で多くの皆さまにご覧いただけるように保管したいと考えておりますので、ぜひ寄贈していただきますようお願いいたします。なお、寄贈できないものについては、記念式典後ご返却いたします。

1. 展示期間

平成21年11月2日(月)～11月16日(月)・・・約2週間

2. 展示場所

喜茂別高等学校音楽室（1階）

3. ご協力いただきたい展示品

①部活動関係（スキー部、剣道部、ハンドベル部、野球部）など

・用具、トロフィー、賞状、写真、ユニフォームなど（個人種目の賞状・トロフィーは全道大会以上）

②制服（各年、男女各1着）

・平成6年度以前のもの・・・（正装＋略装）

・平成6年度以降のもの（現在の制服）・・・（正装＋略装）

③写真類

・学校祭、見学旅行、卒業式など個人で持っているもので展示できるもの

④生徒会誌「若草」の不足分

・昭和39年（1号／1号のみ名称は「生徒会誌」）

・昭和40年（2号／2号から名称が「若草」に）

・昭和41年（3号）、44年（6号）、平成14年（39号）、19年（44号）

※町外からの物品提供については、その都度学校で検討いたします。

5. 締め切り

・9月18日（金）17時まで

■連絡先

閉校記念事業協賛会 事務局（喜茂別高等学校 教諭小川卓也 電話：33-2201）

きもべつ119

火災	5月	累計	前年同期
建物火災	0件	0件	1件
車両火災	0件	0件	0件
その他	0件	1件	2件
合計	0件	1件	3件

救急	5月	累計	前年同期
急病	11件	61件	50件
一般負傷	4件	55件	76件
交通事故	2件	10件	13件
その他	0件	8件	16件
合計	17件	134件	155件

支庁等からのお知らせ

町村職員採用資格試験のご案内

後志支庁管内町村職員の「一般事務職」採用資格試験を行います。

■試験区分及び職務内容

●試験区分

・一般事務職初級
・一般事務職上級

●職務内容

町村長部局、教育委員会等各種委員会事務局、議会事務局等に勤務し、一般行政事務に従事します。

■受験資格

・初級試験は、昭和63年4月2日から平成4年4月1日までに生まれた人

・上級試験は、昭和57年4月2日から昭和63年4月1日までに生まれた人

・ただし、日本国籍を有しない人又は地方公務員法第16条の各号のいずれかに該当する人は受験できません。

■試験方法及び内容

●第一次試験

・初級試験は、高校卒業程度の試験問題で教養試験、作文試験

・上級試験は、大学卒業程度の試験問題で教養試験、論文試験

●第二次試験

第一次試験合格者は、採用資格候補者名簿に登録され、この名簿に登録された者に対して、各町村が第二次試験を行います。

■試験日程、場所及び合格発表

●日時 平成21年9月20日(日)

●場所 倶知安高等学校

●発表 第一次試験の結果は10月中旬全員に通知します

■受け付け期間及び受験手続

●受付期間 平成21年7月13日(月)から8月7日(金)まで受付

●申込書の請求先・問い合わせ先

役場総務課

「平成21年度精神障がい者家族学習会」のご案内

倶知安保健所では、毎年ご家族を対象に、家族同士の交流の機会として病気や対応についての学習会を開催しています。

ご家族のみなさんは、「どんな病気なんだろう?」、「どんなふうに接したらよいのだろう?」など、さまざまな不安や疑問があると思います。心配ごとや悩みなどみなさんと語り合ってみませんか?

お気軽にご参加ください。

※申込み・連絡先

後志保健福祉事務所保健福祉部子ども・保健推進課

精神保健福祉係 保健師まで

電話 23-1957

	日時・場所	テーマ・講師
第1回	平成21年7月16日(木) 13:30～15:30 倶知安保健所	「統合失調症を学ぼう ～病気の理解と対応について～」 【講師】JA北海道厚生連倶知安厚生病院　新出医師
第2回	平成21年8月4日(火) 13:30～16:00 倶知安保健所	「社会資源を知ろう」「当事者からのメッセージ」 【講師】JA北海道厚生連倶知安厚生病院 黒木ソーシャルワーカー
第3回	平成21年8月25日(火) 13:30～15:30 倶知安保健所余市支所	「統合失調症を学ぼう ～病気の理解と対応について～」 【講師】JA北海道厚生連倶知安厚生病院　新出医師
第4回	平成21年9月15日(火) 13:30～16:00 仁木町保健センター	「社会資源を知ろう」「当事者からのメッセージ」 【講師】医療法人修徳会林病院 安田精神保健福祉士

国等からのお知らせ

海上保安学校・大学校　学生を募集します

海上保安庁では、平成22年4月採用の海上保安学校・海上保安大学校学生の採用試験を左記により行います。

なお、ご不明な点がございましたら、第一管区海上保安本部総務部人事課

※電話0134-27-0118までご連絡をお願いします。

1　受験申込書受付期間

●学校学生

・郵送／平成21年7月21日（火）～8月4日（火）

・インターネット／平成21年7月21日（火）～7月28日（火）

●大学校学生

・郵送／平成21年8月27日（木）～9月8日（火）

・インターネット／平成21年8月27日（木）～9月2日（水）

2　受験資格

・学校学生は、昭和61年4月2日以降、大学校学生は平成元年4月2日以降に生まれた者で次に掲げるもの

・高等学校を卒業した者及び平成22年3月までに高等学校を卒業する見込みの者

・中等教育学校を卒業した者及び平成22年3月までに中等教育学校を卒業する見込みの者

・高等専門学校の第3学年の課程を修了した者及び平成22年3月までに高等専門学校の第3学年の課程を修了する見込みの者

・高等学校卒業程度認定試験（廃止前の大学入学資格検定を含む）に合格した者等人事院が（1）、（2）に掲げる者と同等の資格があると認める者

3　試験日（第一次試験）

海上保安学校　平成21年9月27日（日）

海上保安大学校　平成21年10月31日（土）・11月1日（日）

4　第一次試験地（北海道内）

札幌市　函館市　小樽市　旭川市　釧路市

サマージャンボ宝くじが発売されます

平成21年度のサマージャンボ宝くじが発売になります。

■賞金：1等…2億円

1等前後賞…各5千万円

2等…1億円

■発売期間：平成21年7月13日（月）～7月31日（金）まで

■抽選日：平成21年8月11日（火）

■支払い開始日：平成21年8月17日（月）

■収益金：市町村の明るく住み良いまちづくりに使われます。

※昨年のサマージャンボ宝くじの時効《平成21年8月18日（火）》が迫っていますのでお忘れなく。

自衛官を募集します

防衛省は、下記の要領で、平成22年3・4月入隊の自衛官の採用試験を行います。

募集種目	受験資格		受付期間	試験日
2等陸・海・空士	18歳以上27歳未満の者	男子	9月1日まで	9月26日
		女子	8月1日～9月11日	9月27・28日のいずれか
一般曹候補生	18歳以上27歳未満の者		8月1日～9月11日	1次:9月19日 2次:10月8日～15日内1日
航空学生	高卒(見込含)21歳未満のもの		8月1日～9月11日	1次:9月23日 2次:10月17日～22日 3次:11月14日～12月18日
看護学生	高卒(見込含)24歳未満のもの		9月7日～10月2日	1次:10月24日 2次:11月21日～22日
防衛大学校学生 防衛医科大学校学生	高卒(見込含)21歳未満のもの		9月7日～10月2日	防衛大1次:11月7.8日 防医大1次:10月31日・11月1日

※お問い合わせ先　倶知安地域事務所　電話　23-3540

役場総務課　電話33-2211

自衛官募集相談員　輪島忠克

電話　33-2022

ほっとインフォメーション

森田孝一さんが叙勲

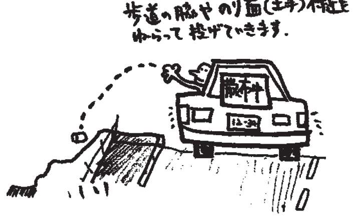
6月2日（火）、森田孝一さん（84歳／大町2）が、「旭日双光章」叙勲の栄誉に浴しました。

森田さんは、昭和43年6月から平成15年9月まで選挙管理委員としての公務に励み、なかでも昭和56年3月から平成15年9月までは選挙管理委員長の要職を勤められた長年の功績に対し、このほどの叙勲となったものです。おめでとうございます。

エキノコックス駆除のベイト散布が始まりました

5月30日と6月2日、キツネの体内に寄生しているエキノコックスを駆除する虫下し薬（ベイト）の第1回目の散布を行いました。町内の住民団体を中心に町民有志も参加して、次の5つのルートに分かれて実施しました。

①中山峠コース
②知来別コース
③比羅岡・留産コース
④鈴川コース
⑤双葉コース



※イラストはベイト散布に参加した三田健司さんが、散布地区に配布した活動報告のチラシに描いたものです

この駆除方法は、キツネに虫下し薬入りのえさ（ベイト）を食べさせて体内のエキノコックスを体外に排出することによりエキノコックスを駆除する方法です。ベイトはキツネを殺す毒ではありませんので、キツネや、犬、猫、家畜、人間が食べても健康に影響はありません。（犬のエキノコックス駆虫に役立つ効果もありますが、ペット等へのベイトの販売・授与は、薬事法や獣医師法で獣医のみができることになっています。）

ベイト散布活動は、5月から11月まで毎月1回、ステッカーを貼った車両で各地区の道路脇に散布します。

皆さんも、ベイト散布活動に参加してみませんか。

※お問い合わせ先：総務課企画情報係
（電話33-2211）

住民参加型入札が行われました

「一般国道230号喜茂別町市街交差点工事」の落札業者を決める方式として、全国で始めて行われる「住民参加型総合評価」が、6月6日役場二階会議室で実施されました。

これは、入札の公平性を確保しつつ、地域住民の関心に的確に対応する工事手法等を提案する事業所を選択できるよう、参加事業所によるプロポーザルを公開の場において行い、住民による評価を点数にして、一定の計算式に組み込むようにしたものです。

三社のプレゼンテーション内容はそれぞれ特徴的なものでしたが、結果的に、工事中の諸問題について地域住民と交流を図りながら、充分な情報提供と説明責任を果たしていく仕組みを提案した会社が最も高く評価されました。入札価格も含めた総合計算により、この会社への落札がこの場で事実上決定されました。

各社のプレゼンテーションに耳を傾ける21人の町民

双葉地区の〝ど根性アスパラ〟

旧双葉小学校校舎付近の国道276号歩道を覆うアスファルト舗装の一部を突き破って、アスパラガスが大きく成長しています。「気がついたのは、もう数年前になりますかねえ。」地域の人たちも、どうしてこんな場所に根を張ったんだろうと首をかしげながらも、そのたくましさを大切に見守っています。

私たちにもそのたくましい元気をおすそ分けしてくれそうな〝ど根性〟アスパラガスは、地域の名物になりそうです。

すくすく HAPPY BIRTHDAY 7月生まれ 1歳です

藤沢 漣（れん）くん

お父さん 尚樹さん
お母さん 恵美さん
（本町）

平成20年7月1日生まれ

たくさんの幸せをありがとう! 漣の成長が楽しみです!!

須藤 隆宗（たかむね）くん

お父さん 利宗さん
お母さん 亜由美さん
（末広町）

平成20年7月23日生まれ

お姉ちゃんのことが大好き! 二人で仲良くたくさん遊んで、元気に育ってね。

永島 琉衣（るい）ちゃん

お父さん 健二さん
お母さん 祐花さん
（旭町）

平成20年7月30日生まれ

お姉ちゃんに負けないくらい、すくすく元気に育ってね。

【戸籍の窓口】

こんにちは はじめまして

日野浦 翔俐（しょうり）くん（5月14日生まれ）…伏見
お父さん 稔一さん お母さん 直実さん

中村 京介（きょうすけ）くん（5月25日生まれ）……緑町
お父さん 圭吾さん お母さん 絵美さん

山岸 しゅうちゃん（5月30日生まれ）…旭町
お父さん 康仁さん お母さん 晴美さん

お悔やみ申し上げます

5月 2日 **菊地 やし子さん**（87歳）…幸町2
5月27日 **流 清さん**（82歳）………………本町
6月 2日 **廣澤 明さん**（72歳）……………緑町
6月11日 **田附 トヨヱさん**（81歳）……緑町
6月16日 **山本 利雄さん**（79歳）……末広町

6月号の【お知らせ／ほっとインフォメーション】「厚生クリニックの外部薬局が開業」の記事（P15）に誤りがありました。関係機関の方々に多大なご迷惑をおかけしましたことを、お詫びいたします。

まちのカレンダー

[+]救急当番病院　[農]農村環境改善センター　[鈴]鈴川集落センター　[厚]厚生クリニック　[ふ]ふれあい福祉センター　[文]倶知安町文化センター　[岩]岩内町高台84-3 ☎0135-62-8373　[PG]町民公園パークゴルフ場　[高]喜茂別高校　[中]喜茂別中学校　[喜]喜茂別小学校　[鈴小]鈴川小学校　[保]喜茂別保育園　[双]双葉克雪管理センター　[プ]町民プール

7/5 日	[鈴]スズラン俳句会例会18:00～/[PG]教育長杯パークゴルフ大会（開会式8:20～） [+]救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
6 月	[農]心配ごと相談9:00～/[双]みんなの介護予防教室9:30～/ [農]げんきママサークル10:00～
7 火	[厚]保健師と語ろうおしゃべりクリニック9:00～/[ふ]ふれあい交流サークル10:00～/[プ]アクアウェーブ14:00～/[文]運転免許法定更新時講習（一般10:30～ 違反13:00～ 優良15:15～）
8 水	[岩]しりべし弁護士相談センター（事前予約）
9 木	[ふ]ふれあい交流サークル10:00～
10 金	（札幌）レディース検診/[プ]アクアウェーブ14:00～
11 土	町民登山会（予定） [+]救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
12 日	[+]救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
13 月	[農]心配ごと相談9:00～
14 火	[ふ]ふれあい交流サークル10:00～/[文]運転免許法定更新時講習（違反10:00～ 初回13:15～ 優良15:30～）
15 水	[PG]老人クラブパークゴルフ月例会8:00～/健康づくり相談室 [双]10:00～ [鈴]13:00～/[岩]しりべし弁護士相談センター（事前予約）
16 木	★回覧物配布日/[厚]保健師と語ろうおしゃべりクリニック9:00～/[ふ]ふれあい交流サークル10:00～/[農]幼児健診9:30～
17 金	[プ]アクアウェーブ14:00～
18 土	[+]救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
19 日	[PG]PG協会パークゴルフ月例会8:00～ [+]救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
20 月	［海の日］ [+]救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
21 火	[ふ]ふれあい交流サークル10:00～/[文]運転免許法定更新時講習（優良11:00～ 違反13:00～ 一般15:15～）
22 水	[農]しらかば会10:30～/[岩]しりべし弁護士相談センター（事前予約）
23 木	[厚]保健師と語ろうおしゃべりクリニック9:00～《栄養ミニ講話あり》/[ふ]ふれあい交流サークル10:00～
24 金	[プ]アクアウェーブ14:00～/[中][喜][鈴小]終業式/[高]学校祭 [農]戦没者追悼式
25 土	[+]救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141 蘭越診療所☎57-5424
26 日	[+]救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141 蘭越診療所☎57-5424
27 月	[農]心配ごと相談9:00～/みんなの介護予防教室 [鈴]9:30～ [ふ]13:30～/[高]全校集会
28 火	[厚]保健師と語ろうおしゃべりクリニック9:00～/[ふ]ふれあい交流サークル10:00～/ [プ]アクアウェーブ14:00～
29 水	[岩]しりべし弁護士相談センター（事前予約）
30 木	[ふ]ふれあい交流サークル10:00～
31 金	[プ]アクアウェーブ14:00～
8/1 土	[+]救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
2 日	[鈴]スズラン俳句会例会18:00～ [+]救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141
3 月	[農]心配ごと相談9:00～/[双]みんなの介護予防教室9:30～
4 火	[ふ]ふれあい交流サークル10:00～/[厚]予防接種10:00～/[ふ]乳児健診12:45～/ [厚]保健師と語ろうおしゃべりクリニック9:00～/[プ]アクアウェーブ14:00～
5 水	[PG]老人クラブパークゴルフ月例会8:00～/[岩]しりべし弁護士相談センター（事前予約）
6 木	☆広報8月号配布/[ふ]ふれあい交流サークル10:00～
7 金	[保]七夕と縁日の集い/[プ]アクアウェーブ14:00～
8 土	[+]救急当番病院▶倶知安厚生病院☎22-1141

■編集後記

今月号は、「自律と協働のまちづくり」を考える年間特集の第2回目です。前回の特集で人件費が大きな要素であることがわかりましたので、その続編として、人件費に関連の深い「アウトソーシング」の理念と実態をテーマとしました。私たちまちづくり編集工房自体も「アウトソーシング」によって成り立っている事業体ですので、自分たちの仕事を見直すとてもいい機会となりました。現在、3名体制で、広報、ホームページ、オフトーク、農村環境改善センターの運営などを行なっていますが、町民の皆さんにご満足いただけているかどうか、いつも不安です。今回は、私たち以外の事業所の方からも様々なお話をお聞かせいただきましたが、公的サービスを維持・向上させるためにどのようにしたらよいか、悩みも深く、とても大きな課題があると実感しました。（梅）

町民まちづくり編集工房から

広報きもべつ「編集会議」にご参加ください!!

毎月「編集会議」を開催していますが、これは、町民ならどなたでも参加できる場です。もちろん意見を述べることも自由です。日時等はオフトークとホームページ、新聞等でご案内いたしますので、是非ご参加ください。

人口と世帯（5月末日現在）

（ ）は前月比

人口
男 1,270人（＋ 1）
女 1,257人（－ 4）
合計2,527人（－ 3）

世帯数
1,234戸（± 0）

[発行] 喜茂別町 電話：0136-33-2211（代） FAX：0136-33-3577
URL http://www.town.kimobetsu.hokkaido.jp E-MAIL info@town.kimobetsu.lg.jp
[編集] 町民まちづくり編集工房 電話&FAX：0136-33-3370（農村環境改善センター内）